

【現在の状況】

- ◆ 7日間毎の新規陽性者数は減少傾向にある（2月27日時点の前週増加比：約0.74倍）が、依然、大規模な感染拡大が継続。
- ◆ 確保病床使用率は7割を超えるとともに、重症病床使用率は4割を超え、いずれも高止まりしており、病床がひっ迫している。入院調整時の入院患者の年代割合は、70代以上が約75%を占めており、今後も、病床ひっ迫は継続すると考えられる。
- ◆ このため、引き続き、感染防止対策を徹底する必要。

大阪モデルのモニタリング指標		警戒（黄）	非常事態（赤）	2/21	2/22	2/23	2/24	2/25	2/26	2/27
感染状況	直近1週間の 人口10万人あたり新規陽性者数	35人以上	—	862.53	843.72	832.44	738.78	705.09	681.90	662.69
医療提供体制	確保病床の使用率	20%以上	50%以上	81.8%	77.0%	75.7%	78.4%	74.8%	74.2%	77.2%
	重症病床の使用率（府定義）※	10%以上	40%以上	46.8%	46.5%	46.1%	47.8%	46.2%	45.1%	45.2%

※コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含んだ使用率

新規陽性者数の減少を確実なものとし、医療提供体制を安定させるため

国に対し、まん延防止等重点措置を実施すべき期間（現在：3月6日まで）の延長を要請